

「中標津町文化財保存活用地域計画」作成に向けたアンケート  
集計報告

調査期間／令和4年2月7日～3月31日

送付数／500通

回答数／128通

回収率／25.6%

中標津町教育委員会

中標津町「文化財保存活用地域計画」作成に向けたアンケート 回答集計

◇あなた（記入者）自身について

性別：男性 47人 女性 79人 不明 2人

年 代

～20代	14人	60代	21人
30代	18人	70代	15人
40代	22人	80代～	16人
50代	20人	無回答	2人

居住地区

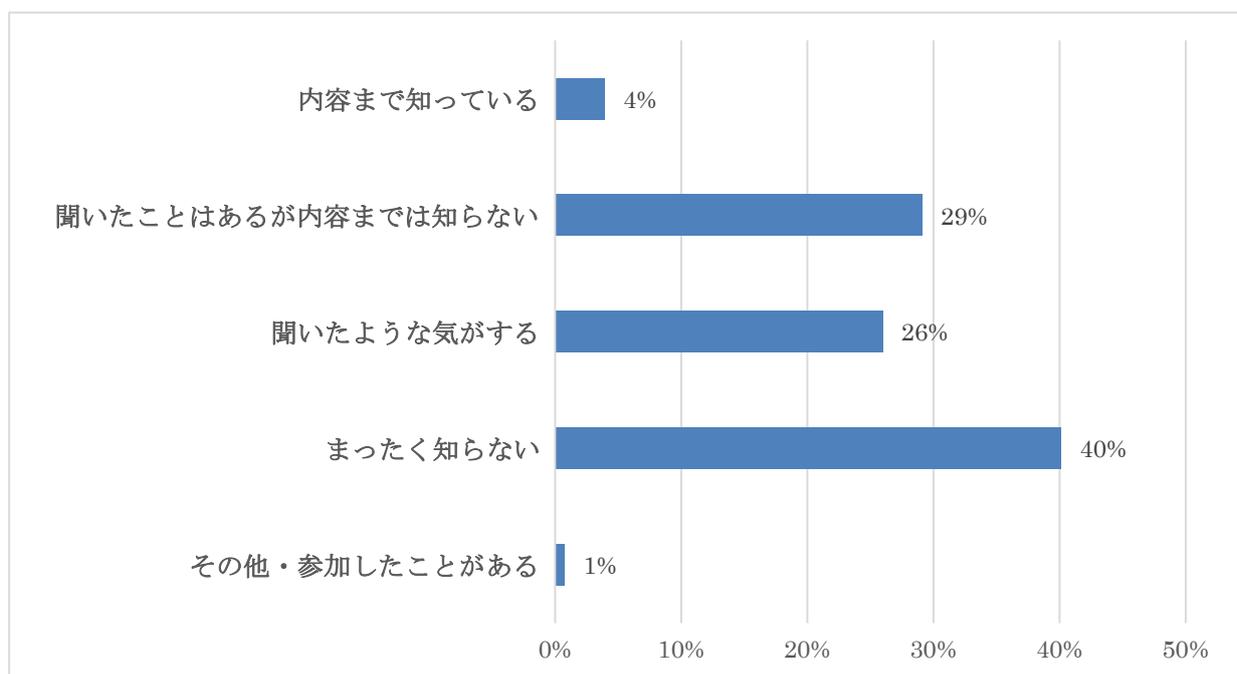
中心部	9人	西 部	5人
西町川西	4人	中標津町農協区域	30人
東 中	4人	計根別市街	11人
東 部	14人	計根別農協区域	24人
南 部	7人	無回答	20人

中標津町居住歴

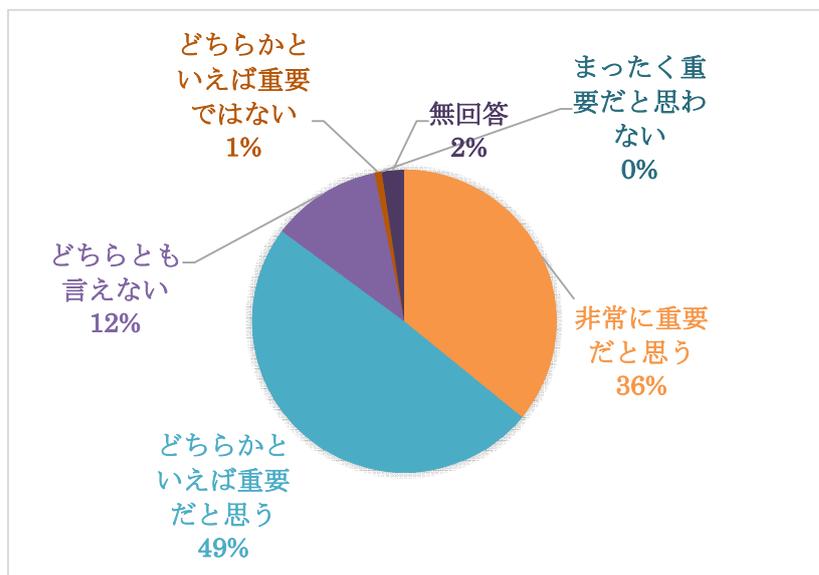
10年未満	13人	50～59年	12人
10～19年	23人	60～69年	10人
20～29年	30人	70～79年	2人
30～39年	19人	80年以上	3人
40～49年	15人	無回答	1人

1. 歴史や文化を活かしたまちづくりについて

1-1 町で進めている歴史や文化を活かしたまちづくりの取組をご存知ですか？



## 1-2 歴史や文化を活かしたまちづくりや、歴史的資産を次世代に残していく取組は重要だと思いますか？



## 1-3 1-2でそのように回答した理由はなぜですか？（自由にご記入ください）

### ① 非常に重要だと思う

- ・過去の歴史文化を知ることにより、今後の文化財保存活用に生かしていくことが出来るからです。(80代)
- ・今あるものは当たり前ではなく、多くの人の想いや行動があつてのことだと思うし、今私たちが何もしなければ、今まであったものを何も無くしてしまうから。(30代)
- ・中標津町にこれからもたくさんの人々が来てもらい、子ども達に中標津が開拓されたことを知ってもらい、これからもずっと町が発展するために。(70代)
- ・中標津町で何があつたのかとか歴史的資産があるなら、それをずっと未来までつなげて残していくことが大事だと思います。(50代)
- ・中標津町に限らず、北海道は本州からの開拓者の方々の苦労や行動で、ここまでの大都市に発展して来たのだと思います。特に今の若い人には、その事があまり認識されていないのではないかと思います。(70代)
- ・歴史的資産や資料は、興味知識のない人にとってはゴミにしか見えない事も多い（e x. 昔の数十円の玩具が数十万円の価値になっている事）。伝成館の資料も危うく捨てられるところだったと聞いたこともある。この様な事を防ぐためにも、歴史資産を町が管理し残していく事およびその教育は重要だと考えられる。(40代)
- ・先人が作ってきたものを次世代人も知らない、歴史や文化が継承されないから。(20代)
- ・今、自分がよくわかっていないので、わかるように次世代に残してほしい。(30代)

- ・郡部の学校跡地の活用。(70代)
- ・歴史を知る事で先人の苦勞を知る事が出来るので、残すべきだと思います。(80代)
- ・町民の町への愛着や誇り、町外のひとへの魅力(観光)となる。(40代)
- ・昔の人々が開拓したからこそ、今のこの町がある。それを忘れないために残していくべき。(30代)
- ・何が歴史的資産なのか不明だけど、必ずあるはずだから。(80代)
- ・街を衰退させないため。(40代)
- ・人に個性があるように「まち」に個性がある方が楽しい。  
歴史には、今を生きていくうえの知恵がたくさん入っていると思う。(60代)
- ・自然がすばらしく野鳥の鳴き声で目覚め、空気、水がきれいでとても癒されます。町のいろいろな施設も安く使えて、また立派です。ひとつ不便と思うのは皆さんが気軽に習い事が出来たり、どこで何をしているのかが分かりません。楽しみが無いことです。(70代)
- ・自分たちの住む町を愛し誇りに思えるものを大切にしていくことは、町の発展につながると思う。歴史、文化はその町の存在の証であるから。広め、つなげていくことが大切。(50代)
- ・子ども達に町に対して誇りを持ってもらうため。(50代)
- ・中標津は良い歴史、文化的な素材があるのに、外へのPRが足りない！！郷土館が地味過ぎます。なんとかして下さい。(40代)
- ・後世に引き継いでいってほしい。(60代)
- ・文化が全く消えてしまうのもどうかと思うし、子ども達の学習に文化を学ぶことがあっても良いと思うから。(30代)
- ・町の文化継承は、これからの中標津の地域を支えていく子ども達のルーツを明確にし、ふるさとを大事にする心を育てるので、大事なことだと思います。(50代)
- ・例えば伝成館の建物は建設された昭和初期にRC造で建てられ、当時の建築技術を残す貴重なものですが、そういったものを保存するだけでなく、街並みに組み込んでいくといった取り組みが大切だと思います。(50代)
- ・歴史的資産を残していくことは「自分達がどこから来てどこへ行くのか」を考える、重要なポイントになると思う。中標津はそういうものを粗末にし過ぎていると思う。(50代)
- ・過去があるから、現在の中標津の発展があるため。(50代)
- ・町の歴史を後世に伝えていくことは、とても大切なことだと思います。先人の方々の町づくりをもっと知る機会があればと思います。(60代)
- ・その土地の歴史を知った上で生活を営むということは、先人に対する感謝する気持ちや喜

びにつながると思うから。(50代)

- ・中標津市街に人口が集中し周りの集落は過疎。大切な建物がいつの間にか取り壊され、このままでは集落が消えてしまう。養老牛小中学校の建物は何故に取り壊されたのでしょうか？(70代)
- ・周辺地域から人が集まりやすい町だから（買い物や空港の利用があるので）。(30代)
- ・住民（町民）にとっても、離れていく若い世代の人にとっても、この町の歴史・文化は“ほこれる”ものだと思うからです。(70代)
- ・後世に残すために必要。(60代)

## ② どちらかといえば重要だと思う

- ・中標津の発展と子ども達のために必要だと思うから。(40代)
- ・子どもや若い世代の人に、郷土に愛着を持ってもらうのに重要。(60代)
- ・歴史的資産を次世代に残すことは、若い世代に残していくことは重要ですので、取り組んでください。(80代)
- ・昔があって今があるから。(20代)
- ・郷土館など見ると楽しい。歴史を感じる。(60代)
- ・東京からの移住者で、自然に興味があって来ました。文化財にはあまり興味ありません。(60代)
- ・歴史や文化が、その土地の個性を作ると思うから。(50代)
- ・近年、町の様子がどんどん変化しているから。(50代)
- ・次世代に残していく事は大切だと思うから。(30代)
- ・若い世代に残していく上で引き継いでいく人がいないと、土地等の資産が資産として残せなくなっていくから。(30代)
- ・北海道ならではの歴史は重要だと思います。建築も生態系も内地にはないものが多くある。(40代)
- ・町の文化歴史を活かすのは賛成だが、活動にお金がかかる。維持にお金がかかるなど町税を使うものについては、慎重に進めるべきだと思う。他に優先すべき取り組みがあれば、そちらに町税を使ってほしいので。(30代)
- ・先人の苦労があつての、今の中標津だから。(40代)
- ・町の遺跡、史跡を問われても、咄嗟に思い浮かばない。(80代)
- ・それらをしないと過去が無くなってしまいそうだから。開拓者たちのやってきたことを、

無駄にしてはいけないのでは？と考えます。(40代)

- ・開拓や歴史的資産に当時携わっていた方々が高齢となり、若い世代に伝えていかないとせっかくの町の財産の価値も無くなる。(40代)
- ・自分の住んでいる町のことを知るの、いいことだと思う。(80代)
- ・将来、町の成り立ちを子どもに教える時に必要なため。また、なぜ酪農に力を入れているか知る必要があるため。(30代)
- ・本州と違い歴史が浅い北海道の中でも、さらに道東の歴史は浅く、歴史的資産に対する住人の意識は低いと思う。あえて意識し重要だと思う取り組みを、積極的にする必要があるかも知れないから。(50代)
- ・ふだん気付けないことに気が付ける。(40代)
- ・全てが無くなってしまふのは悲しいから。(40代)
- ・先人の開拓時代の工夫や苦労は興味深く、後世に伝えていくことは大切だと思うから。(50代)
- ・子ども達に伝えていく必要がある。(80代)
- ・この町は歴史的なものが少ないから。(40代)
- ・来世に残したい。(30代)
- ・どのような歴史を経て現在に至るかを、知っておくことは大切だと思うので。(50代)
- ・年々中標津町も変貌ぶりは目覚ましい事です。中標津町の美しい自然、歴史は後世に伝え残すべきかと思えます。(70代)
- ・中標津を作り上げてくださった先祖の方々を大切に、今後わたしたち子孫の人々の心のつながりを保っていくことが重要だと思います。(60代)
- ・住民が町に定住してくれる要素の一つだと思うから。(60代)
- ・その町固有の特徴や個性を大事にすることは、次世代以降の自信につながると思うから。(20代)
- ・取り組みの意志が無ければ風化するものだから。(50代)
- ・小中学生等の郷土学習により資料がたくさん見られる郷土館があるが、建物がせまく見づらいのが残念です。中標津の町が発展してきて、昔の駅や役場、消防署などがどこにあったのかが、今の子ども達にもわかるような標識があってもよいと思う。(80代)
- ・きびしい気候の中で酪農や畑作に活路を見出し、格子状防風林を生かした北風をさける農家の方や、じゃがいもを澱粉製造まで、一次産業を2次、3次化していく先人達に感謝するところです。(60代)

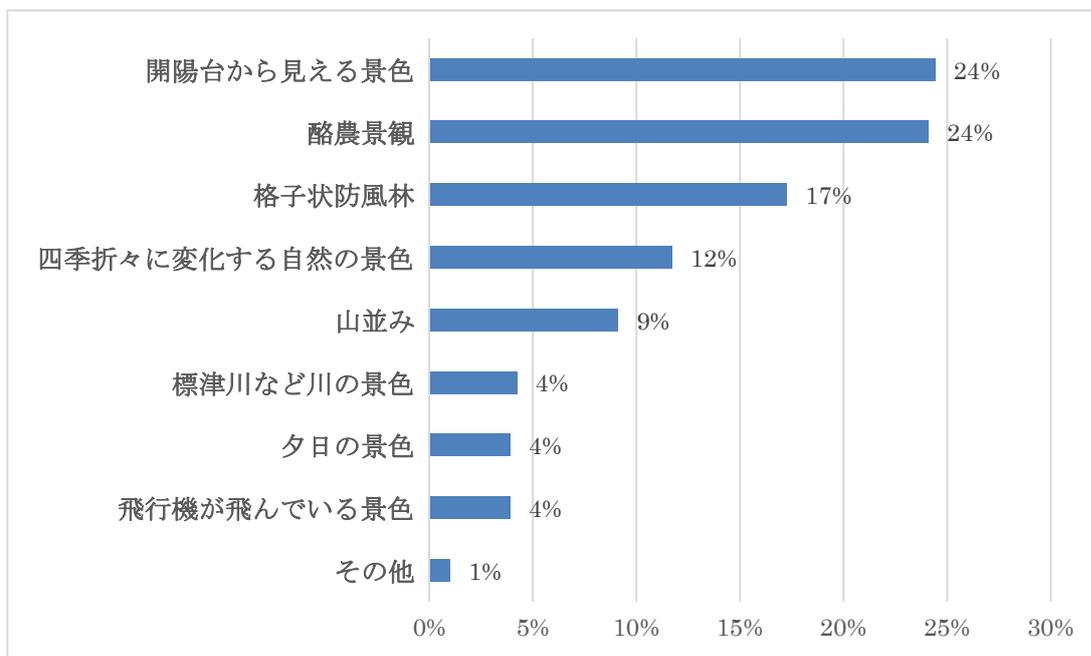
- ・今まで築いてきた事を残し、つないでいくのは大事だと思う。(20代)
- ・文化が全く消えてしまうのもどうかと思うし、子供たちの学習に文化を学ぶ事があっても良いと思うから。(30代)

③ どちらとも言えない

- ・よく知らない。(40代)
- ・あまり興味が無いので、一部の人のために無駄遣いしてまで必要と思わない。(40代)
- ・次世代に残すうえで、必要性の線引きが難しい。(40代)
- ・今後のことを十分に検討した上で判断することが望ましい。(60代)
- ・次世代に残していくのはいい事なのと思うが、重要とは言い切れない。(40代)
- ・歴史的資産を残すためには、多額の資金が必要となるため。(70代)

## 2. 歴史や文化に対するイメージについて

### 2-1 中標津町の代表的な景観イメージは何ですか？ 【複数選択】

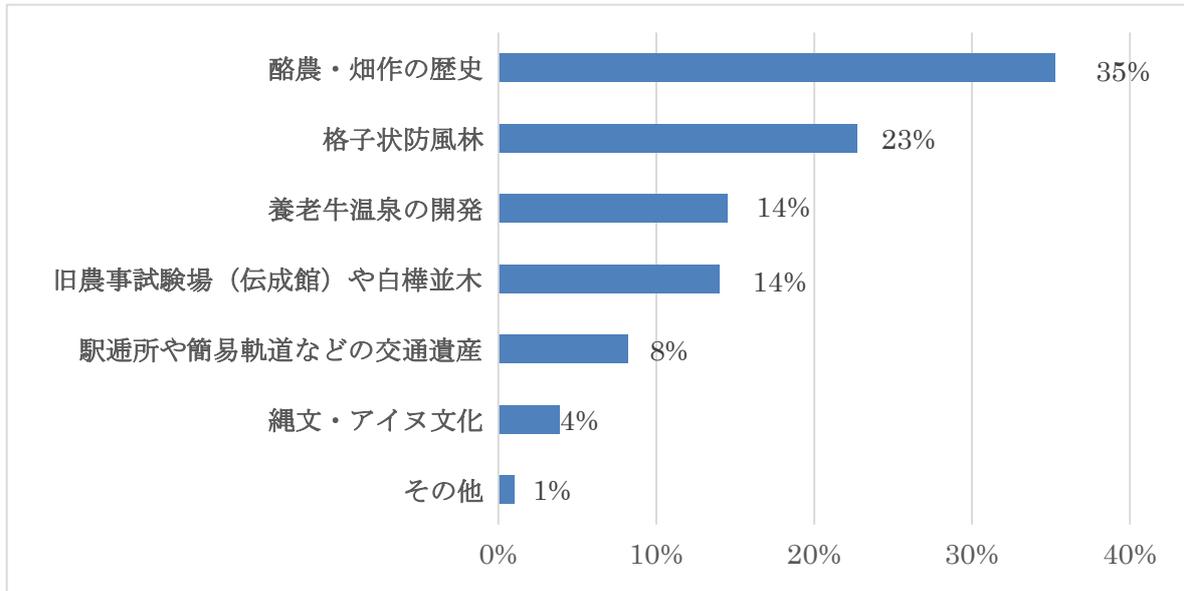


※「その他」の回答は以下のとおり。

- ・雪印工場
- ・一年中入れる運動公園すばらしくきれい
- ・印象にない
- ・どれを取っても中途半端、後世に残る物をつくり上げる必要がある。

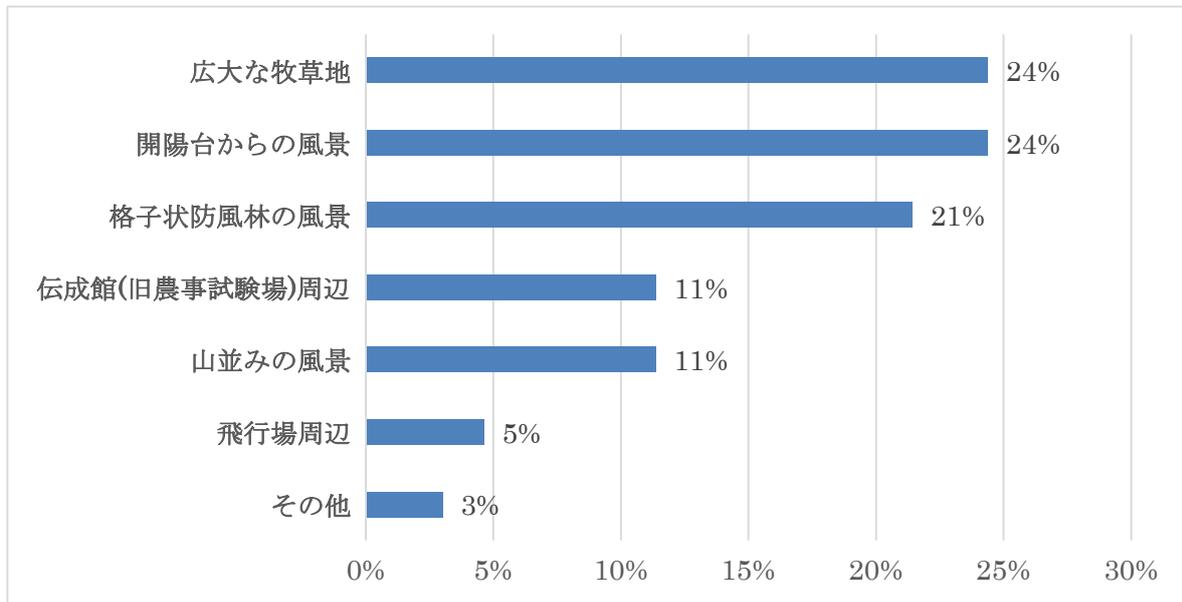
2-2 中標津町の「歴史・文化」を物語る代表的なイメージは何ですか？

【複数選択】



2-3 中標津町の「歴史・文化」を感じる場所や風景とは何ですか？

【複数選択】



※「その他」の回答は以下のとおり。

- ・旧雪印工場跡～養老牛市街、馬車軌道の歴史
- ・俵橋小学校
- ・郷土館
- ・特になし・わからない

### 3. 中標津町を語る上で欠かせないもの、地域の自慢（お宝）について

#### 3-1 次世代に残したいと思う大切なもの、地域の自慢はありますか？

（もの、こと、場所、建物、風景、行事、産業、技術など複数選択）

##### [大切なもの]

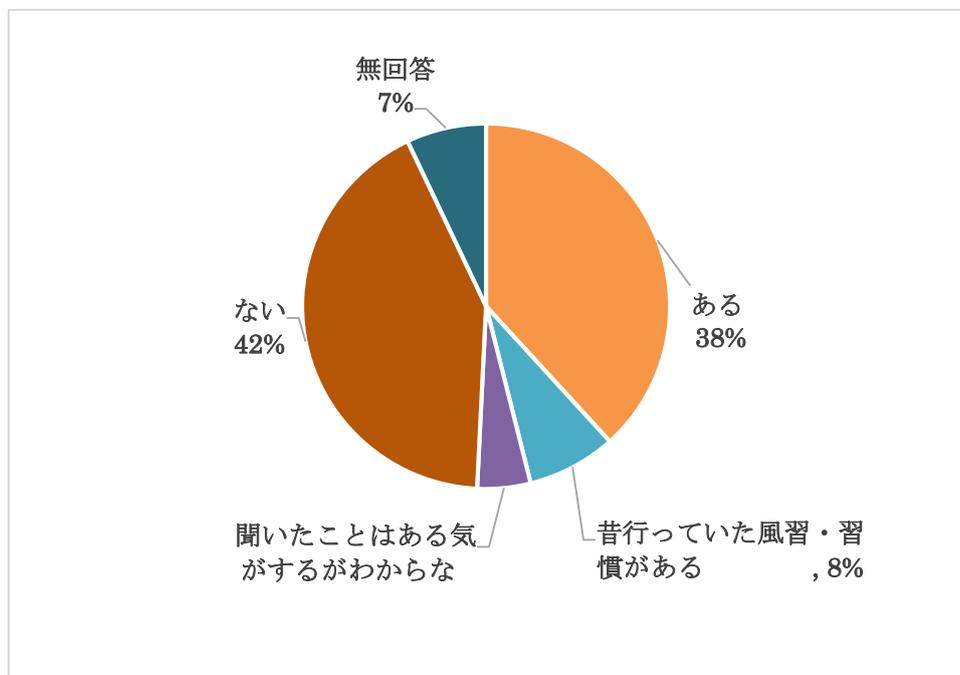
- ・格子状防風林（7）
- ・酪農（酪農の発展）（7）
- ・広大な牧草地（6）
- ・農業（農業全般）（3）
- ・中標津の第一次産業
- ・牧草地だけではなく畑全般
- ・風景（3）
- ・開陽台からの風景（6）
- ・開拓の歴史や人力による開墾
- ・牧草地と山
- ・酪農を基幹産業として発展してきたからこそある酪農風景
- ・山並み（2）
- ・地平線と水平線
- ・原始林を切り開いた広大な景観
- ・標津川
- ・自然（子ども達がいきいきと遊べる）（6）
- ・開陽台（4）
- ・旧農事試験場周辺
- ・空港（6）
- ・養老牛温泉（2）
- ・からまつの湯
- ・白樺並木
- ・丸山公園
- ・中標津神社
- ・ハリストス教会
- ・伝成館
- ・雪印工場
- ・ランチウェイ
- ・モアン山の牛文字
- ・祭り
- ・観光まつり（提灯祭り）（2）
- ・行事
- ・牛
- ・牛乳
- ・地元食材
- ・乳製品とそれらを使った料理
- ・人
- ・つながり
- ・地域の人々が集まれる会館
- ・酪農中心でも町が栄えていること
- ・珍しい野鳥とそれに関する歴史
- ・擦文、アイヌ文化の看板はありましたが、草木で分かりませんね。
- ・俵橋小学校の跡地を利用して道の駅や文化・防風林の紹介、チーズ、伯爵、馬鈴薯などの販売とPR

##### [地域の自慢]

- ・風景
- ・広大な牧草地（2）
- ・開陽台からの風景（6）
- ・酪農景観（2）
- ・放牧風景（牛や馬）（4）
- ・海外を訪れたような景観
- ・格子状防風林（宇宙からも見える）（3）
- ・開拓
- ・酪農業（4）
- ・酪農生産
- ・畑作
- ・武佐岳（2）
- ・山並み
- ・野生の動物が身近にいる
- ・広い空
- ・きれいな空気
- ・開陽台（5）
- ・クテクンの滝
- ・空港（5）
- ・空港が町から近い（2）
- ・丸山公園
- ・運動公園
- ・道立ゆめの森公園
- ・養老牛温泉
- ・温泉（2）
- ・花火
- ・夏まつり（提灯）（4）
- ・お祭り（様々なお祭り）（2）

- ・牛
- ・牛乳がおいしい町
- ・おいしい食べ物
- ・ミルクまんじゅう
- ・街並みが発展している
- ・住みやすさ
- ・程よく田舎だけど生活には困らないほどのお店がある。空港もあり観光地（川湯・阿寒・知床など）に囲まれている。
- ・「遙かなる山の呼び声」など、映画ロケ地場所の再整備をして観光地化
- ・人より牛の方が多い
- ・おいしい乳製品
- ・しいたけ
- ・加工センターのチーズ、ソーセージ作り
- ・生活に困らない
- ・転勤族に親切
- ・牛乳（４）
- ・ソフトクリームがおいしい町（２）
- ・地産地消のさまざまな食品
- ・若い人が元気
- ・商業が充実しているところ

### 3-2 ご家庭や地域で行っている風習や習慣（年中行事など）はありますか？



### 3-3 どのような風習・習慣ですか？（3-2で①～③と回答した方のみ）

〔あると回答した方の具体的内容〕

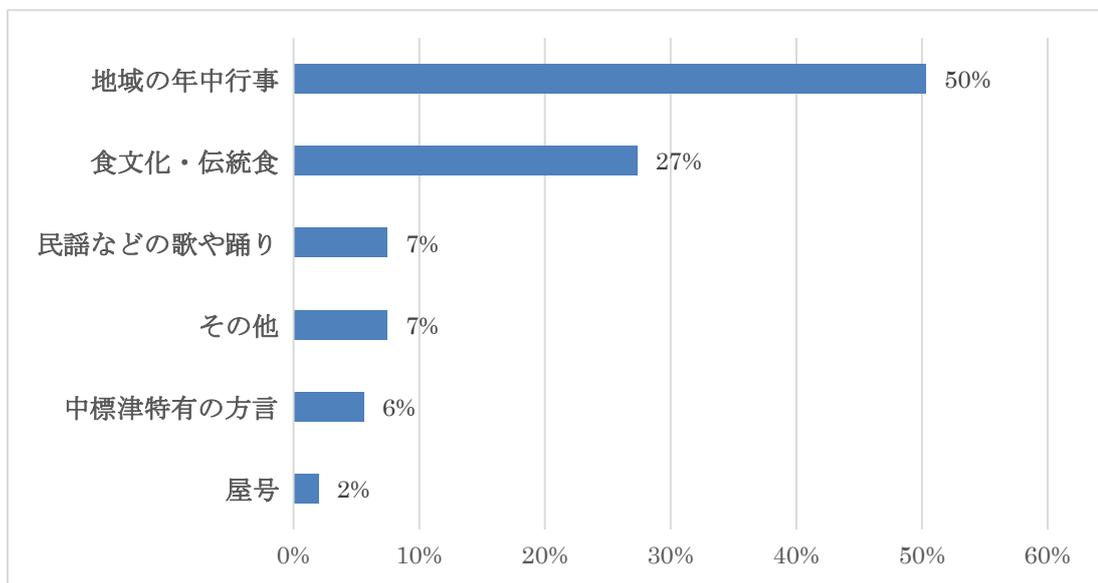
- ・地域のお祭り（22）  
〔春のお祭り 5/5、お盆まつり 8/15、神社祭り、町内会夏祭り、開拓記念祭、4月に春のお祭りといって家族ぐるみで会食やゲームをする、など〕
- ・夏祭りの子ども神輿の練習風景と当日の行列
- ・牛祭り、牛魂祭（9）
- ・馬頭祭り（3）
- ・かぼちゃランタン作り
- ・3月下旬に部落で、その年の豊作安全を祈願するため石碑に集まり供養する地神祭
- ・地域の親睦行事（4）  
〔運動会、パークゴルフ大会、花見、バーベキュー会、会館に月一回集まって体操やゲームをする、など〕

- ・会館周辺の清掃及び道路のごみ拾い（2）
- ・お正月
- ・豆まき（6）
- ・こどもの日
- ・クリスマスパーティー
- ・昔から伝わっている行事を子どもに教えるためにやってきたが、子どもが大きくなってあまりやっていない。
- ・餅つき（6）
- ・ひなまつり
- ・お盆の墓参り
- ・季節の行事全般（3）
- ・しめ縄作り
- ・七草がゆ
- ・お彼岸（おはぎ、ぼたもち）
- ・盆踊り（2）
- ・そうめんやカボチャを食べる

〔昔行っていた風習・習慣があると回答した方の具体的内容〕

- ・神社祭り
- ・餅つき（2）
- ・保育所と地域が一緒に行く運動会
- ・豆まき（節分に神棚へお神酒と豆を上げ、夜に豆まき）
- ・七夕（「ロウソク出せ」と歌いながら戸別訪問し、お菓子をもらう）
- ・春祭り
- ・新年会
- ・夏祭り
- ・盆踊り（2）
- ・牛祭り（2）
- ・町民運動会

### 3-4 地域の風習や習慣、伝承などについて、どのようなことを後世に伝えていきたいと思いますか？ 【複数選択】

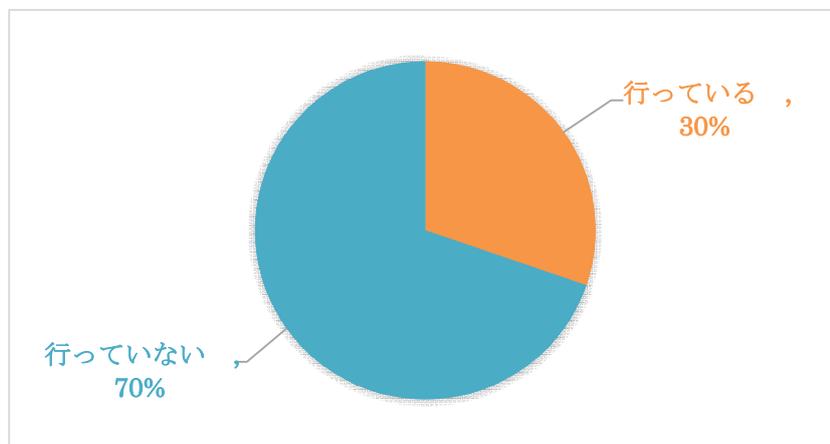


※「その他」の回答は以下のとおり。

- ・お祭り ・日本の昔ながらの年中行事 ・縄文、アイヌからの歴史
- ・アイヌ語由来の地名がたくさんありますが、もととなったアイヌ語の意味を知っている人が、もっと増えるといいと思います。
- ・わからない、知らない、特にないなど

#### 4. 文化や伝統などの継承に係る現状と課題について

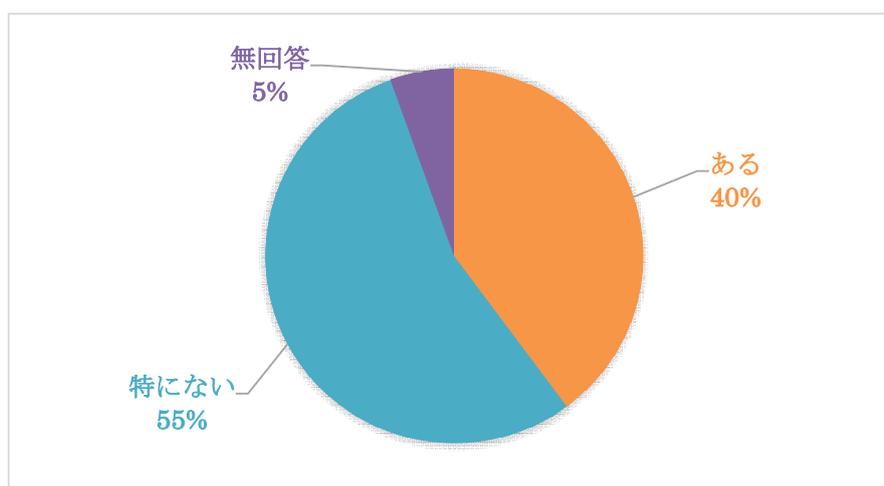
4-1 あなたがお住いの地域やご家庭で、生活文化や伝統などの継承に向けた取組を何か行っていますか？（お祭り、行事、伝承、遊び、昔話、その他お年寄りから若い世代、子ども達に伝えていることなど。複数選択可）



#### 4-2 どのような取組ですか？（4-1で①と回答した方のみ）

- ・お祭り（22）〔春祭り、秋祭り、提灯祭り、神社祭（6）、町内会祭り（3）も含む〕
- ・神社祭の時に焼肉や演芸 ・子どもみこし ・班当番制でお祭り準備と運営
- ・開拓記念祭 ・牛祭り（牛魂祭、畜魂祭、馬頭祭り）（5）
- ・そばうち ・公園で親睦焼肉 ・かぼちゃランタン作り ・敬老会
- ・豆まき ・盆踊り ・環境美化 ・花壇への苗植え
- ・親子餅つき ・昔に地域であったことを子どもに話す（2）
- ・華道の指導を通じて季節の食事や菓子を伝える

4-3 地域の生活文化や伝統などを継承しようとした時、課題と感ずることはありますか？



#### 4-4 どのような課題を感じていますか？（4-3で①と回答した方のみ）

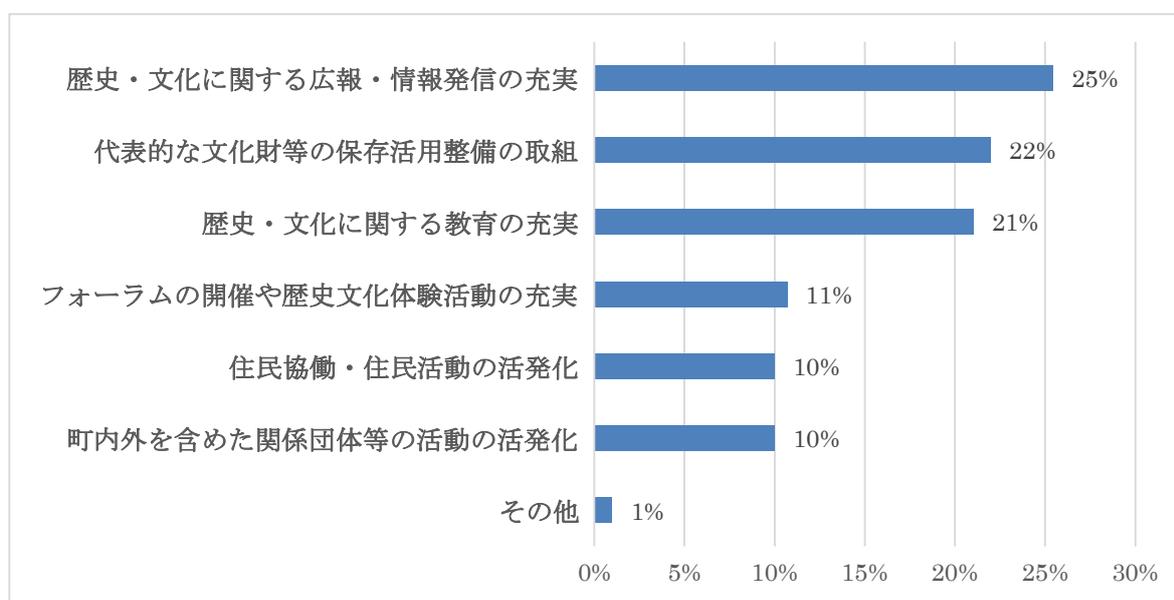
- ・少子化（2）（20代/50代）
  - ・人口減少、少子高齢化で受け継ぐ人が少ない（4）（30代//50代/70代/80代）
  - ・住民の人数、戸数の減少(70代)                      ・参加者が減っている気がする(30代)
  - ・若い世代の人が少ない（2）（20代/50代）      ・伝える場と伝える人が少なくなった(80代)
- 代)
- ・コロナで人が集まらない（4）（30代/50代）
  - ・地域と人のつながりが無いのでスタートが大変。(70代)
  - ・大勢で集まれなくなっている。(50代)      ・みんなで取り組めなくなっている(60代)
  - ・面倒、人任せに思うことがある。(50代)
  - ・町内会未加入者が多く、つながりが希薄化(60代)
  - ・関心を持って参加してくれる人が減っている。(60代)
  - ・行事をやる意味を理解されていないので、必要ないと考えている人が多い(30代)
  - ・お願いに行っても取り組むことに聞く耳を持ってくれない(70代)
  - ・何かやろうとした時に、みんなが理解を示して賛成してくれるかどうか(50代)
  - ・自分さえ良ければ、地域の付き合いなんて必要ないと思っている人が多い(30代)
  - ・行事に子どもの参加が少なくなった(20代)
  - ・若い人はやるべき事がたくさんあるので、関心が薄い(60代)
  - ・今どきの子どもは押しつけを嫌うので、データで残すと良い（2）（40代）
  - ・子の世代に継承されず忘れ去られてきている(40代)      ・若者への継承の難しさ(60代)
  - ・老人が世代を超えて伝える場がない(60代)              ・年代間の考え方(40代)
  - ・世代交代していくと理解者も減っていくのではないか(40代)
  - ・時代が変わったとしか言えないが、老人の身では仕方がない(70代)
  - ・後継者問題（離農者が多く参加者も減った）（2）（40代/60代）
  - ・役員が高齢で行事参加者も少ない(80代)      ・寄付集めなど役員だけが大変そう(30代)
  - ・町外から転入してきたので古くからの取り組みに容易に介入できない(50代)
  - ・地域の輪がない（連帯感が薄い、家系など優位性を主張）（2）（40代）
  - ・中標津特有の生活、文化がわからない。(50代)
  - ・住んでいる地域の習慣等がわからない（世代が広がると思うので広報で周知してほしい）(30代)
  - ・魅力がない。魅力がわからない(50代)              ・それを学ぶ場も時間もない(40代)
  - ・積極的に日本の伝統文化を紹介する機会を作してほしい。(70代)
  - ・伝統となりつつあるモアン山の牛文字はやめてほしい(50代)

- ・移住者には魅力的でも、地元民にとっては“大変”という価値観のズレ(40代)
- ・入殖者が多いので昔から地域に伝わる話、伝記などを知りたい(40代)
- ・発信力、実行力が弱い (50代)
- ・高齢で体が思うように動かず、お手伝いできない(80代)

## 5. 地域資源（歴史・文化）の保存・活用について

### 5-1 歴史・文化を守り活かしていくために重要と考えることは何ですか？

【複数選択】



※「その他」の回答は、以下のとおり。

- ・若い人が活発に動いてほしい
- ・トップに立つ人達の横のつながり

### 5-2 どのような地域資源（歴史・文化）を守り、活用したいと思いますか？

- ・酪農、畑作、開拓の歴史など（6）（30代/40代/50代/60代）
- ・格子状防風林（6）（20代/30代/40代/60代）
  - ※自然災害が増えている、また多くの動植物が住んでいるため(50代)
- ・格子状防風林歴史（20代/30代/50代/60代/70代/80代） ・防風林の景色（50代）
- ・酪農地域ならではの景観（2）（30代/50代）
- ・自然と産業（酪農等）が融合した景観。(50代)
- ・養老牛～計根別間の馬鉄による牛乳集荷(70代)
- ・古い歴史ある建物をカフェや憩いの場、何でもいいので活用できるとよい。人が集まるお祭りも、地域を挙げたイベントが少ないところでは大事と思う。お年寄りとお若者が交流できるイベントがあるとよいと思う（20代）
- ・景色の良い場所にスパを作り、観光客を増やしたい(50代)
- ・夏祭りや冬祭りなどの行事が続いて行ってほしい（特に提灯）（50代）

- ・夏祭りを全町民で取り組めれば(50代)
- ・お祭り (40代)
- ・なぜ地域に小さな神社があるのか。(80代)
- ・昔から続いている町の行事(50代)
- ・酪農、畑作などの資源 (2) (30代/60代)
- ・開陽台 (2) (30代)
- ・伝成館 (2) (40代/50代)
- ・伝成館など歴史的な建物(50代)
- ・縄文、アイヌの遺跡 (60代)
- ・資料館 (2) (20代/40代)
- ・郷土館の整備活性化(70代)
- ・丸山公園 (60代)
- ・発掘した土器などの保存、展示 (60代)
- ・昔の人が使っていた農機具など(60代)
- ・農林水産物(20代)
- ・酪農を守り牛乳を活用する。(20代)
- ・開陽台はもちろん、計根別市街から少し離れたところにある旧飛行場の格納庫、からまつ湯、上武佐ハリストス正教会を守ることは、観光にもつながるのでは。(30代)
- ・郷土館を皆にもっと知ってもらうため、コロナが落ち着いたら丸山公園での催し物も良いと思う。(50代)
- ・縄文土器などを展示する郷土資料館などがあると、見たい人がたくさんいると思います。(70代)
- ・写真等を展示して、たくさんの人に昔の中標津を見てもらい、今との比較をしてもらうと楽しいと思います。地域のつながりも大切な文化だと思います。(80代)
- ・駅、線路跡、旧滑走路(遊歩道にしてはどうか)。(40代)
- ・道の駅と一緒に文化施設を使ってはどうか。(40代)
- ・養老牛温泉一人勝ちで全体的にさびれている。入浴以外で楽しめる活用が、開陽台もイベントが少なすぎる。全国的に発信できるものが欲しい。根釧台地を牧草地だけにとどめず畑作利用可とする研究開発が望まれる。(80代)
- ・まず、どの様な歴史があり文化があるのかが分からないので、それをどうするかは出てこない。まずは知ることが大切だと思う。(60代)
- ・活用するのは難しいので、守り、次世代へ残す取り組みが重要と考えています。(30代)
- ・山田洋次監督が惹かれた中標津の風景を発信する。格子状防風林は全国的に見て珍しく貴重なものである。空港があるので“空から防風林が見れる町”というPRをする。(40代)
- ・木(歴史でも文化でも無いが、ソーラー(パネルの設置)で木を切りすぎ。景観ももちろんだけど防風林の役割が無くなって、運転が危ない) (40代)
- ・Webや市民講座、子どもたちの体験活動などが増えればよいと思う。(50代)
- ・やはり人に会わないと始まらないと思う。(60代)
- ・どのようにこの土地を開拓してきたのか、ここまで便利になったことのありがたさという事を、もっと子ども達に教えるべきだと思う。中標津にずっと住んでいる(生まれ育ってきた)人は、この魅力が何だかわかっているのだろうか。親が教えられない。まず教育だと思います。(50代)
- ・農地を農地として活用していけたらいいと思います。(20代)
- ・5-1のこと全部大切。ひとつひとつ具体的にどうしたらいいのか難しいです。(70代)
- ・太陽光パネルを増やすことには反対。耐久年数は分かりませんが、維持管理に将来どれ

位のコストがかかるか不安です。(50代)

## 6. 自由意見

### 6-1 歴史・文化を物語る上で重要な“地域の資源”を守り活かしていくために、日頃思っていることがありましたらご自由にお書きください。

- ・伝成館など歴史的建造物の維持管理に、本腰を入れて取り組んでほしい。維持費の補助等も必要なのではないかと。(50代)
- ・まずは伝えていくために子ども達への教育が重要だと思う。そのために大人には地域の歴史についての知識が必要。現在は大人にその知識が足りていない。(50代)
- ・比較的新しい街なので、根室市などに比べどのような歴史、文化財があるのか、私も含め知らない人が多いと思う、まずは「知る」ことから始まると思う。(50代)
- ・歴史や文化について、住んでいる町のことをあまり知りません。でも祖母が入植した時の話(住んでいた家、牛の頭数、子育てなど)を聞いていて、驚きばかりで楽しかったことを覚えています。昔に使われていた駅の跡や線路跡、空港が好きな叔父の話も聞いていて楽しかったので、身近にそうした話し手がいると興味が沸くのかも知れません。今と昔の写真の見比べも大好きなので、広報やフェイスブック、ラジオなどで紹介してもいいかもしれません。(30代)
- ・中標津の中心部だけが発展し、周りの集落が消えそうなことが心配。バスなど交通も、私が子どものころと比較して後退している。(70代)
- ・町の個性が生き残っていくには、かなり大変な時代になってきたと感じる。個性は大事ですが最も重要なのは、その土地を愛する人の気持ちなのだと思います。一町民としては、中標津産の商品は応援したいと思います。(20代)
- ・中途半端な活用は無駄。何度でも足を運びたい場所やイベントにしてこそ、継承につながると思います。(50代)
- ・住みやすく自然豊かな中標津が、観光や商業の中心地(道東)として発展していけるように願っています。(50代)
- ・40年前に初めて中標津に来て、何もない広大な牧草地、開陽台から見る朝陽、夕陽の素晴らしさに感動し、いつか住みたいと思いやっとな実現しました。でも風景こそ変わっていませんが、駅が無くなり、大きなスーパーができ、住民にしたなら住みやすいいい街になっていました。大好きだった開陽台も中途半端に整備され、昔の展望台があるだけの場所ではなくなってガッカリです。中標津らしい何もない広大な牧草地、風景、格子状防風林を守り続けてほしいです。(60代)
- ・格子状防風林をどうやって次世代に残していく方法は何でしょうか。いろいろな遺産がありますけど、どうやって残すのか大変なところでは。(60代)
- ・インターネットでもっと発信していただきたいです。フェイスブックではゆめの森公園は素晴らしい写真が残っています。町としても、観光協会、教育委員会でも発信があるとよいと思います。(70代)
- ・学校等での教育、町の歴史など記載された書物を配布。(50代)
- ・文化財が残る残らないという事は、現代でも必要であったり継続していることが重要だと思います。何も残っていないという事は無いという事ですね。しかし問5-2について(格子状防風林と丸山公園)は、今でも意味があったり利用されているので重要と考えます。(60代)
- ・移住して10年。中標津の歴史や文化について触れることが全くなかったのもっと情報を発信して知ってもらおう事が大切だと思います。(30代)
- ・大阪から来たもんで、地元のことはあまり知りませんが、中標津町は住みよい所です。

(80代)

- ・古事記のようにわかりやすい物語形式にして、基本的な街の成り立ちを皆が広く浅く知ると良いと思います。(50代)
- ・過去より未来が大切だが、予算が余っているのであれば文化保存に使っても良いと思う。(40代)
- ・ふるさと納税にもっと力を入れたらいいと思う。(60代)
- ・ソーラーの設置等で大自然の景観を壊している。(40代)
- ・太陽光発電で景観が悪くなったので撤去してほしい。(40代)
- ・モアン山の牛文字に不快感を持っている人はいないのですか。誰か調べてほしい。(50代)
- ・中標津のB級グルメ「中標津チャウダー」を考えてみました(材料に近隣産の貝、野菜、中標津産の野菜、乳製品を列記)。コンセプトは“周辺地域の特産物を中標津の乳製品がまとめる”“近隣地域間の連携・協力・協調”。(50代)
- ・子どものころ中標津の良さを体感する機会が多くある人は、中標津を離れてもいくつになっても守り生かそうと、何かしらの思いを持てるのではないか。あいまいではあるが中標津を愛する雰囲気を作る事が大切かなと思う。それが子ども達や他から訪れた人に伝わるのかな、難しいことですね。(50代)
- ・ランチウェイが閉鎖されたことは大変残念に思っています。別のルートでも道や町が管理を民間などに委託し、再開できたらと思います。(50代)
- ・町として活動することは必要だが、その前に下の人間に押し付けては、祭りも含めて必ず無くなるので、協力してくれる人を大切にすることが必要であり、協力してくれる人も騙らないように見れる人を上の立場に据える事が重要。(30代)
- ・維持費が高い、耐震構造が脆弱だ、等は後付けの言い訳だと思う。100年以上保たれてきた古い建物には、歴史と先人の知恵が満ちています。俵橋小学校校舎を取り壊さず、再利用してほしい(ワークショップ会場など)。(40代)
- ・小規模校の廃校、統合が進むことは、歴史、文化を残すことに反することだと考えています。学校は地域、歴史、文化を語る上で欠かせないものの一つなので、廃校になった学校を何らかの形で生かしてほしい。(50代)
- ・老人の身としては、もう少し若かったらいろいろな所でいろいろな事を見ておきたかった、残念な気持ちです。(70代)
- ・若い人たちが積極的に関わって、町を支えてほしい。(80代)
- ・町の歴史に携わっている方は詳しく知っていると思うが、代表的な格子状防風林や旧試験場などの存在すら知らない人は多いと思う。学校で町の歴史や建造物を学び、興味を持ってもらえる取組が欲しい。もう行っているかもしれませんが……。 (40代)
- ・他県出身の自分が見た中標津の文化、それは人々が積極的に意見を言わず、責任を負いたくなく、強い意見の人に流され、陰で文句を言っているというものでした。いろいろな場面でこのような場面をよく見ます。残念です。そして中標津といえば!と聞かれて、答えられるものが無いところが悲しいです。他地域の方に中標津というと「人口より牛が多いところですよ」と言われます。他に何かあればいいですね。(40代)
- ・管内の経済、文化の中心的機能を有しながら、全く生かされていない。町は商業に安住、歴史文化の活用に危機感薄いのでは。公園施設の充実、特性はいずれも中途半端で興味薄し。(80代)
- ・子ども達が自分の町のことをよく知る機会があればうれしい。特に体験学習。大人になっても自分の育った町を誇り、その経験を活かせたらとても素晴らしい。(30代)
- ・木を切りすぎている。(40代)

- ・地域の学校が無くなり、子どもとの接点が無くなった。学校の統合は効率的だが地域の歴史は失われた。(80代)
- ・中標津は本当にいい町だと思うので、町民や町外の人々にも町の歴史、文化を知ってもらいたいです。(30代)
- ・中標津に移住して、あまりに歴史的なものが無くて驚きました。でもそれは前しか見ないで急成長を遂げた、中標津らしさでもと思いました。アメリカ的な。なのでこれからも、そんな中標津を活かしていけばいいと思います。(40代)
- ・町場、農村、計根別など区別なく、町民全員が参画できるような取り組みがあればと思う。以前夏祭りでやっていた綱引きなど。(50代)
- ・坂や丘の上から望む知床連山、斜里岳の山並みが好きです(桜ヶ丘から街中へ向かう時など)。この眺望をもっとアピールしたらいいのと思っています。(50代)
- ・郷土館の事は知られているのだろうか。(60代)
- ・私は地元でないので、歴史や文化と言ってもわかりません(町民は歴史や文化をどれだけ知っているのか)。中標津は養老牛から始まったと説明してくれた人がいました(今の町長)。(70代)
- ・農業を頑張っています。(30代)
- ・酪農継承。(20代)
- ・今後の人口減少が心配です。(80代)
- ・子ども達が中標津のことを好きにならないと、人口が減っていきます。(50代)
- ・重要なもの、価値のあるもの、いろいろあるが、地元の間人やふだんからそれに触れている人間は、そのことに気づくことは難しい。他所との違いを知る事により、それらの大切さに気付くことが出来る。つまり教育が大事。(40代)
- ・“地域の資源”が、どんな物があるか具体的に取り上げて、もっと町民にPRしてまず知ってもらうことが大事だと思います。知れば興味も出てくると思うので、そこから始まる。(70代)
- ・それぞれの団体が垣根を越えて、アイデアやお金、労働力を出し合っていない限り、便利な町で終わってしまうと思う。歴史、文化は大切だけど、それが今の生活にどうつながってきたのかが見えにくいので、関係者だけではなく一般人に伝えられることが必要かと。(30代)
- ・歴史、文化、地域の資源を守り、後世に残ることは大変重要ですので、教育委員会ほかよろしくお願い申し上げます。(80代)